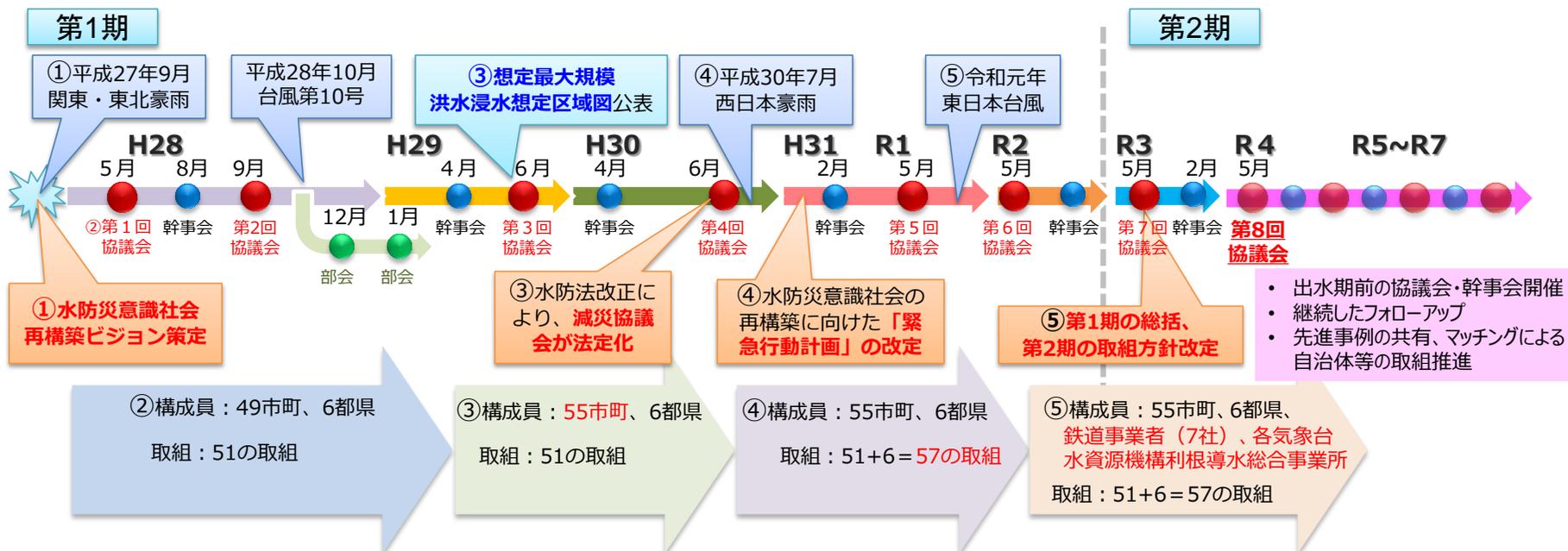


# 今後の予定

第1期 平成28年度～令和2年度		第2期 令和3年度～令和7年度(予定)				
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
協議会(第6回) 令和2年5月28日	協議会(第7回) 令和3年5月26日(書面)	協議会(第8回) 令和4年5月26日(WEB)	協議会(第9回) 令和5年5月(予)	協議会(第10回) 令和6年5月(予)	協議会(第11回) 令和7年5月(予)	
幹事会 令和3年2月26日(書面)	幹事会 令和4年2月28日(WEB)	幹事会 令和5年2月(予)(WEB)	幹事会 令和6年2月(予)	幹事会 令和7年2月(予)	幹事会 令和8年2月(予)	
実施状況のフォローアップ	実施状況のフォローアップ	実施状況のフォローアップ	実施状況のフォローアップ	実施状況のフォローアップ	実施状況のフォローアップ	
<p>&lt;第1期総括と今後の取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①構成員追加による規約の改定</li> <li>②第1期(平成28年度～令和2度)の取組の総括</li> <li>③取組方針の改定</li> </ul>		<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出水期前の協議会・幹事会開催</li> <li>●継続したフォローアップ</li> <li>●先進事例の共有、マッチングによる自治体等の取組推進</li> </ul>				
					第2期総括	



# 利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会概要

## ■ 経緯・目標

### ◆ 水防災意識社会再構築ビジョンとは？

- 平成27年9月関東・東北豪雨では、**逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失**が発生しました。
- 全国各地で頻発・激甚化する豪雨に対応するため、「**施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの**」と意識を変革し、**社会全体で洪水に備えるため、「水防災意識社会再構築ビジョン」**を策定しました。



平成27年9月関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫の様子

### ◆ 利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会（平成28年5月設立）について

## 目標「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」

河川管理者、気象台、市区町、水防管理者を構成員として、「河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流すハード対策」に加え、以下のソフト対策の取組を実施します。

#### 減災のための目標達成に向けた3本柱の取組

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な**避難行動のための取組**
2. 洪水氾濫における被害の軽減、避難時間の確保のための**水防活動の取組**
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための**排水活動の取組**

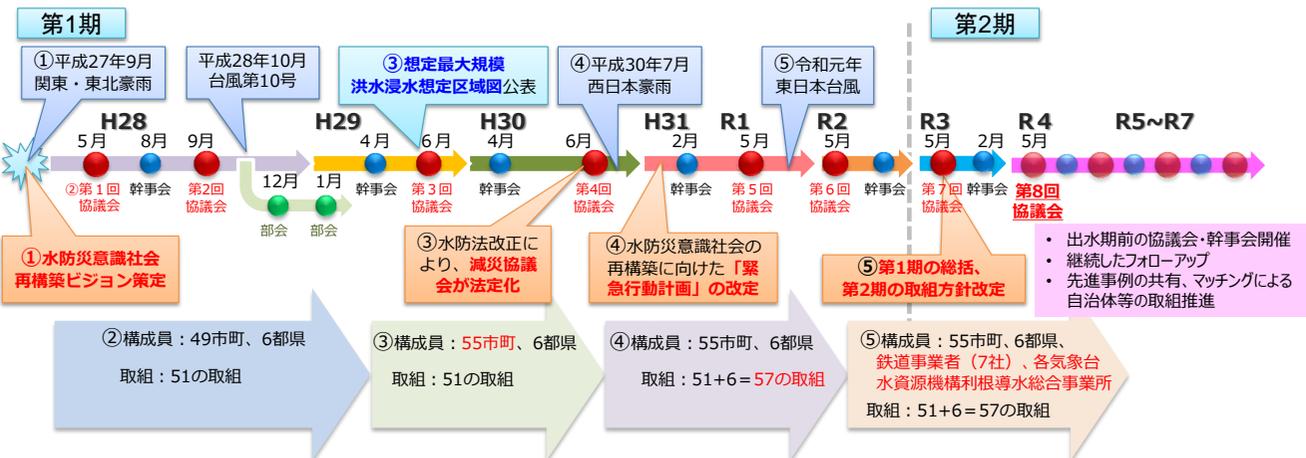
## ■ 実施する主な取組（全57取組）

### ◆ 主な取組方針 ハード対策（10取組）

A) 洪水を河川内で安全に流す対策	1取組
B) 危機管理型ハード対策	1取組
C) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	8取組

### ◆ 主な取組方針 ソフト対策（47取組）

① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	
D) 住民等の避難行動につながるわかりやすいリスク情報の周知	4取組
E) 避難計画、情報伝達方法等の改善	8取組
F) 企業防災等に関する事項	2取組
G) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	4取組
H) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	3取組
I) 防災教育や防災知識の普及	7取組
② 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組	
J) より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	11取組
③ 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動等の取組	
K) 氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用	1取組
L) 緊急排水作業準備計画（案）の作成及び排水訓練の実施	2取組
M) BCP（業務継続計画）に関する事項	2取組
N) 生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用	1取組
O) 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	1取組
P) 適切な土地利用の促進	1取組



# 参考 第7回減災対策協議会（令和3年5月26日開催（書面））概要

## ◆第1期取組総括

第1期（平成28年度～令和2年度）では、ハード対策とソフト対策について57の取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」にむけ、**確実に成果を上げることができました。**

ハード整備や情報伝達の取組が進む一方で、関係機関や民間企業との調整や連携が必要なBCPや広域避難計画の策定などでは、取組の進捗が比較的低いことがわかりました。

## ◆主な取組事例

### C) 危機管理型水位計の整備



低コストな水位計で、**これまで水位計の無かった河川や地先で、きめ細やかな水位把握**を図ります。

### H, I) 水防災に関する学習



マイ・タイムラインの作成

**災害時に自らの安全を確保**できるように、**小学生向けの防災教育**を実施しています。

### J) 水防団や地域住民、企業が参加する共同点検の実施



堤防の共同点検の実施

河川管理者、**水防団、沿川住民等**が連携して実際に**堤防の共同点検**を実施しています。

### L) 緊急排水作業準備計画・排水訓練の実施



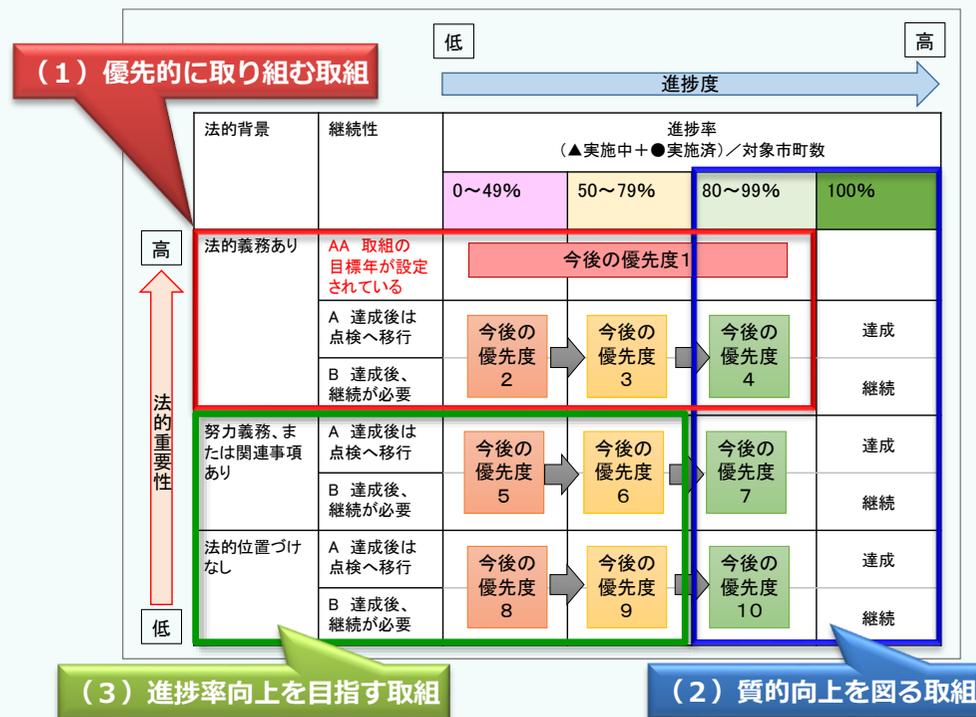
排水ポンプ車講習の実施

利根川上流域の関係機関が共同で**排水作業準備計（案）を作成**します。また、**氾濫水の早期排水のための訓練**等を実施しています。

## ◆第2期取組方針・今後の予定

第2期（令和3年度以降）では、第1期に続き、**避難を確実に実施するための対策**や**避難時間の確保・経済被害軽減のための水防体制強化**を中心に取組みを継続します。

第1期の総括を踏まえ、**(1) 優先的に取り組むべき取組**、**(2) 質的な向上を図る取組**、**(3) 進捗率向上を目指す取組**を選定し、**メリハリある取組**を行います。



## ◆取組方針の改定のポイント

- 取組方針の「達成すべき目標」および「**目標を達成するための3本柱の取組**」は第1期の取組方針を**継承**
- ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に推進する57の取組を継続
- 目標期間は現計画と同様に**5年**（令和3年度～7年度）
- ただし、**取組は継続中のため、目標期間にメリハリをつける**
- その他、構成員の追加など時点修正